



# 昭和大学歯学部だより

2024年2・3月号

通算第227号

## 令和5年度卒業式・学位記伝達式が開催されました

＜歯学部長 馬場 一美＞

令和5年度の昭和大学卒業式と学位記伝達式が、3月19日(火曜日)にパシフィコ横浜において執り行われ、医学部123名、歯学部94名、薬学部169名、保健医療学部145名が御卒業されました。厳粛な中にも慶びに満ちた卒業式では、中林朱音さんが歯学部総代として久光学長より学位記を授与されました。久光学長の告示、小口理事長のご祝辞では、学祖、上條秀介先生が教育の理念として揚げられていた「不求一身安」(自分一人だけの保身や保全を求めてはならない)というお言葉が引用され、患者のために最善を尽くす医療従事者として頑張ってもらいたいとの励ましを賜りました。続く、学位記伝達式は、学部ごとに隣接のアネックスホールに移り、和やかな雰囲気の中、各人への学位記授与と特別表彰、記念品贈呈が行われました。卒業生の皆様が、昭和大学の思い出とともに素晴らしい人生を歩まれるよう祈念致しております。



- P.1 【令和5年度卒業式・学位記伝達式が開催されました】歯学部長 馬場 一美教授
- P.2 【令和5年度卒業式・学位記伝達式での表彰者について】歯学部学生部長 野中 直子教授  
【謝恩会が開催されました】歯学部学生部長 野中 直子教授
- P.3 【第117回歯科医師国家試験結果】D6 チューター会議 坂井 信裕教授  
【令和5年度大学院修了式が開催されました】歯学研究科長 高見 正道教授
- P.4 【昭和大学に47年間お世話になりました】歯科保存学講座美容歯科学部門 真鍋 厚史教授  
【医科歯科連携を学んだ4年間】総合内科 木庭 新治教授  
【定年退職に際して】歯科補綴学講座顎関節症治療学部門 菅沼 岳史教授
- P.5 【日本歯科医学会会長賞を受賞して】口腔生理学講座 井上 富雄名誉教授  
【日本歯科医学会会長賞を受賞して】全身管理歯科学講座歯科麻酔科学部門 飯島 毅彦客員教授
- P.6 【CBT が実施されました】CBT 実施責任者 鈴木 規元教授  
【研究紹介】歯科補綴学講座歯科補綴学部門 馬場 一美教授  
【行事予定】広報委員長 柴田 陽教授  
【編集後記】口腔病態診断科学講座口腔病理学部門 行森 茜

# 令和5年度卒業式・学位記伝達式での表彰者について

＜歯学部学生部長 野中 直子＞

卒業式・学位記伝達式にて以下の学生が表彰されました。受賞された皆さん、おめでとうございます。今後のご活躍をお祈りしております。

卒業式	上條賞	中林 朱音	上條旗ヶ岡賞	藤井 康太
	同窓会賞	飯田 萌, 松下 菜々, 原田 優		
学位記伝達式	教育委員長賞	中嶋 日向	ストローマンアワード	新井 大介
	学生部長賞	藤島 美穂	日本小児歯科学会 学部学生優秀賞	林 遥佳
	デンツプライシロナ・ スチューデント・アワード・プログラム	柴本 康太	国際歯科学士会 ICDアワード	鈴木 智子
	モリタ補綴学賞	三木 ちえり		

## 謝恩会が開催されました

＜歯学部学生部長 野中 直子＞

3月19日(火)18時から帝国ホテルにおいて、歯学部42回生卒業生による謝恩会が開催されました。ここ数年は新型コロナ感染拡大防止のため、謝恩会は中止または規模を縮小して行われていましたが、今回は保護者の皆様のご参加もあり盛大に開催されました。小口理事長、上條副理事長、久光学長はじめ来賓の先生方にご参加いただき、また歯学部の多くの教員が出席いたしました。祝宴は、卒業生の笑顔と心のこもったおもてなしで、会場の至る所で歓談が見られました。最後に、謝恩会実行委員長から教職員や保護者の方々への感謝の挨拶があり、立派に成長された皆さんの顔を拝見し、嬉しい気持ちで胸がいっぱいになりました。卒業生の皆様のご今後のご活躍をお祈りしております。



# 第117回歯科医師国家試験結果

＜D6チューター会議 坂井 信裕＞

3月15日に第117回歯科医師国家試験の結果が発表されました。全体の合格者数は2060名(合格率66.1%)で昨年より増加しました。本学の新卒合格率は94.7%, 既卒生を含めた全体合格率は88.1%であり、全国歯科大学では2番目(私立歯科大2番目)という素晴らしい結果でした。今回は必修問題が易化傾向だったため、逆に結果が出るまで安心出来ない学生さんも多かったと思います。この結果は6年生の団結力と6年間の努力の成果です。そして講義や学修を指導して頂いた多くの教員ならびに学務課など関係者皆様のご尽力の賜物でございます。このお借りして感謝を申し上げますとともに、来年に向けて引き続き、よろしくお願いいたします。

# 令和5年度大学院修了式が開催されました

＜歯学研究科長 高見 正道＞

令和6年3月25日午後4時より、令和5年度大学院修了式が昭和大学上條記念館において挙行され、会場は修了生のご家族や教員、ご友人など多くの参加者で活気に溢れていました。今回は、医学研究科23名、歯学研究科21名、薬学研究科15名に博士の学位が、保健医療学研究科5名に修士、8名に博士の学位が授与され、歯学研究科の上條賞は顎顔面口腔外科学分野の大島絵莉さんが受賞しました。

久光学長の告辞と小口理事長の祝辞に続いて各研究科長が挨拶し、歯学研究科長の私は「学位取得という1つの目的を達成したことは本当に素晴らしい。次は、新たな目標と自身とを直線で繋ぎ、できるだけ無駄を排除し効率よく目標に向かって突き進んでほしい。」と述べました。

昭和大学宣言と校歌斉唱の後、修了者に研究科長から学位記が一人ずつ手渡され、修了生と記念撮影をおこないました。博士となられた修了生の皆さん、今後の活躍を大いに期待しています。





## 昭和大学に47年間お世話になりました

＜歯学保存学講座美容歯科学部門 真鍋 厚史＞



私は歯学部入学から3月まで長きに渡りお世話になりました。私が4年生の時、洗足キャンパスに移った時はお店もほとんどなく昼に食事するのもキッチンカーが駐車場に来るような時代でした。当然外来も現在とはまるで違い患者さんも少なく今考えるとほのぼのとしていた時代です。あの当時は私たち臨床実習生でも治療が可能で手を震わせながら治療をした覚えがあります。また患者さんは学生でもいいから早く見てほしいと思っていた時代です。歯科保存科だけでも6ヶ月の待機であったような気がします。それから40年経過した今は歯科医師の急増とともにより安全安心な歯科医療を提供する極めて厳しい医療現場になってきました。今後とも微弱ながらお手伝いをさせていただきつつ退職の言葉とさせていただきます。

## 医科歯科連携を学んだ4年間

＜全身管理歯科学総合内科学部門 木庭 新治＞



令和2年4月、井上紳教授の後任として歯学部総合内科に赴任しました。平成27年私立大学研究ブランディング事業の申請や個別の研究以来、歯学部の先生皆様からご指導いただき、ご縁を感じました。新型コロナウイルス感染症が急速に蔓延し、赴任1週間後に緊急事態宣言が発令され、学生実習の中止、オンライン講義など生活様式が一変しました。私は、老年科指導医としてオーラルフレイルに着目し、高齢者歯科（現在の口腔機能管理科）と連携させていただき、臨床研究を開始しました。大学院生を迎えることができ、医科歯科連携を推進しております。4年間貴重な機会をいただきありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。

## 定年退職に際して

＜歯科補綴学講座顎関節症治療学部門 菅沼 岳史＞



1985年（昭和60年）に昭和大学を卒業し、気がつけば65歳を迎えました。卒業後3年ぐらい大学に残って田舎に帰ろうと思っていましたが、クラウンブリッジに始まり、歯科補綴学講座に約33年、顎関節症治療学部門に移って6年と結果的に39年間を過ごしたことになります。歯科医師として臨床はもちろんのこと研究や教育に携わることは、大学に在籍していたからできたことであり、年を重ねるごとにいろいろなことに興味がわき、今日まで過ごすことができました。これまでご指導いただきました諸先生方、ご支援いただきました皆様に心より感謝を申し上げます。最後に昭和医科大学としてますますのご発展をこころより願っております。

## 日本歯科医学会会長賞を受賞して

＜口腔生理学講座 井上 富雄＞

令和5年度日本歯科医学会会長賞授賞式が2月20日に市ヶ谷の日本歯科医師会館で執り行われました。私は昭和大学歯学部のご推薦をいただき、研究部門で受賞の栄誉にあずかりました。このような名誉ある賞をいただきましたのも、国内の歯学部の中でも有数の研究設備を誇る昭和大学歯学部にて23年間在籍し、学内の多くの先生方からさまざまなご協力を賜ったおかげと心から感謝申し上げます。また、本学歯科麻酔科学部門客員教授の飯島毅彦先生も同時に会長賞を受賞されました。飯島先生とは年齢をはじめ多くの共通点があり、授賞式で久しぶりにお会いして、やはりご縁のある先生と感じた次第です。最後に、昭和大学歯学部のさらなる発展を心から祈念しております。

## 日本歯科医学会会長賞を受賞して

＜全身管理歯科学講座歯科麻酔科学部門 飯島 毅彦＞

令和5年度日本歯科医学会会長賞(教育部門)を受賞いたしました。口腔生理学の井上富雄教授と同時に受賞したことは大変光栄です。日本歯科医学会の住友雅人会長も歯科麻酔科学が専門ですが、「歯科の中で歯科麻酔ははずれに位置している」と自嘲的に言われています。やはり、麻酔という分野は特殊であり、歯科界でも麻酔管理はあまり知られていないのが現状です。しかし、実際には全身麻酔を含め麻酔管理が必要な患者さんはたくさんいます。私の受賞が歯科麻酔の普及に役立つことを期待しております。昭和大学の中では新任の増田教授が引き継ぎ、歯科麻酔の普及に活躍しています。昭和大学歯学部のさらなる発展をお祈りします。





## 共用試験 CBT が実施されました

＜CBT 実施責任者 鈴木 規元＞

1月31日(水)に令和5年度共用試験 CBT が実施されました。本年度も欠席者はなく、4年生89名全員が無事受験しました。当日は旗の台校舎4号館600号教室にて、馬場歯学部長と船津教育委員長の激励を受けたのち、朝9時から午後5時過ぎまで全320問の問題に取り組みました。学生は終始緊張の面持ちでしたが、大きな混乱もなく無事試験を終了することが出来ました。来年度からの共用試験公的化に向けて、本年度は公的化トライアルの形で運営が行われましたが、機構派遣監督者の先生方からは運営状況、感染症対策、学生の受験態度など良好とのコメントをいただきました。試験監督をはじめ、CBT 実施にあたりご協力いただいた先生方、学務課の皆様には、この場を借りて御礼申し上げます。

## 研究紹介～歯科補綴学講座歯科補綴学部門～

＜歯科補綴学講座歯科補綴学部門 馬場 一美＞



歯科補綴学講座歯科補綴学部門では、振動刺激を用いた睡眠時ブラキシズム抑制システムの開発、ならびにiPS細胞を用いた睡眠時ブラキシズム発症メカニズムの解明を目的とする「Sleep Bruxism」チーム、補綴治療のデジタル化を目的とした基礎・臨床的研究を行う「Digital Dentistry」チーム、患者立脚型アウトカムを用いた補綴治療の評価を目的とした「QoL」チーム、セリア安定化ジルコニアインプラントの開発、ならびに洗口剤を用いたデンチャープラーク付着抑制効果の検証を行う「Biomaterials」チーム

の主に4つの研究チームに分かれ、日々研究活動に取り組んでいます。今後も補綴歯科治療のさらなる向上を目指し、16名の医局員ならびに15名の大学院生とともに歯科医療を支える研究成果を報告できるよう努めています。

## 行事予定

＜広報委員長 柴田 陽＞

4月6日(土) 大学院春季入学式、4月7日(日) 昭和大学入学式、4月8日(月) 昭和大学入寮式

## 編集後記

＜口腔病態診断科学講座 口腔病理学部門 行森 茜＞

まだまだ寒い日が続きますが、窓の外には木々の芽吹きが見られ、春が徐々に近づいてきたことを感じます。お忙しい中、ご寄稿くださいました先生方に感謝申し上げます。

昭和大学 歯学部だより 通算227号 2024年3月発行

発行責任者：歯学部長 馬場 一美 編集責任者：広報委員会委員長 柴田 陽

2・3月号編集委員：行森 茜（広報委員会）

〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL：03-3784-8000

ホームページ：<https://www.showa-u.ac.jp>